

事業番号	事務事業名	宮島口旅客ターミナル運営事業				所管課名	産業部観光課	所属長名	山田 実
	方向性	3	資源を活かす				係・グループ名	観光振興係	
	重点施策	4	観光ブランド力の向上を図る				根拠法令等	-	
	施策方針	1	地域資源の磨き上げと受け入れ環境の充実				基本事業		
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業1 事業2 経・臨
	一般会計		商工費		商工費		観光費	002	51 経 観光誘客強化事業(政策)

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☒ 単年度繰返し ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度) ☐ 単年度のみ	宮島の玄関口として、また、観光交流拠点として、誘客強化・おもてなし向上を図るため、宮島口旅客ターミナル施設の付加機能部(観光案内・物販・情報発信・にぎわいづくり)の運営業務を委託実施している。	令和2年宮島口旅客ターミナルの完成に合わせ、宮島への玄関口として観光客へのおもてなし対応、情報発信やにぎわいづくりを推進するため

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容	活動指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
宮島口旅客ターミナル施設(付加機能部)運営業務	→ ア 観光案内所利用件数(月平均)	件	目標 実績	2,083 2,311	2,500 3,460	2,917 3,661	3,600	-
	→ イ		目標 実績					
	→ ウ		目標 実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
観光客	→ ア 総観光客数	万人	見込 実績	600 537	700 803	770 831	800	-
	→ イ		見込 実績					
	→ ウ		見込 実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
各種情報媒体を活用し、的確な観光情報を収集し、多くの観光コンテンツを体験・体験できる	→ ア 宮島地域以外の観光客数	万人	目標 実績	258 157	260 204	262 198	264	-
	→ イ 宮島の観光客数	万人	目標 実績	342 380	440 599	508 633	610	-
	→ ウ		目標 実績					
結果(結びつく施策の意図は何か)	施策の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
宿泊観光客数が伸び、一人当たり消費額が増える	→ ア 市内宿泊観光客数	万人	目標 実績	66 46	67 76	67 74	70	-
	→ イ 観光客一人当たり消費額(観光消費額/観光客数)	円	目標 実績	3,900 4,094	4,000 4,300	4,000 4,412	4,000	-

3 事務事業の予算・コスト概要

年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)
事業費(A) (円)	49,000,000	49,000,000	49,000,000	50,320,000	1,320,000	49,539,600
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	市債				0	
	その他特財				0	
	一般財源	49,000,000	49,000,000	49,000,000	1,320,000	49,539,600
業務延べ時間(時間)	190	190	190		-190	
人件費(B) (円)	833,000	809,000	829,000	0	-829,000	0
トータルコスト(A+B)	49,833,000	49,809,000	49,829,000	50,320,000	491,000	49,539,600
主な支出項目		令和6年度(決算)		備考		
宮島口旅客ターミナル施設(付加機能部)運営業務委託料		50,320,000 円				
		円				
		円				
		円				

①上記の評価結果

A 目的妥当性

☒ 適切

☐ 見直しの余地有り

B 有効性

☐ 適切

☒ 改善の余地有り

C 効率性

☒ 適切

☐ 改善の余地有り

D 公平性

☒ 適切

☐ 見直しの余地有り

②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠

G7サミットや円安効果等により来島者が増えるなかで、宮島口の玄関口、観光交流拠点として、市の魅力の発信やにぎわいづくりができています。
宮島口旅客ターミナル物販施設については、運営当初はコロナ禍により事業・採算の見込みがたたないことなどから、使用料等を徴収していなかったが、コロナ禍が明け、安定的に収益が見込める状況となったことから、使用料の徴収を開始した。

③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 拡充

☒ 現状維持

☐ 目的再設定

☐ 改善

☐ 休止・廃止

☐ 完了

今後の改革改善案

今後、データ収集や 分析等により現状把握・検証等を行い、市内特産品販売や情報発信をより充実させていくとともに、効率的な成果向上や効果的な運営方法等の見直しを図る。

④改革改善案による成果・コストの期待効果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(廃止・休止、完了の場合は記入不要)

⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題

観光情報・データ収集、分析等による、観光客等のニーズ把握、これに伴う効果的な施策・事業実施に係る取組の研究・検討

事業番号	事務事業名		宮島水族館広報宣伝・営業事業					所管課名		産業部宮島水族館企画室		所属長名		北岡 裕二	
	方向性	3	資源を活かす					係・グループ名							
	重点施策	4	観光ブランド力の向上を図る					根拠法令等							
	施策方針	1	地域資源の磨き上げと受け入れ環境の充実					基本事業							
予算科目	会計	45	款	01	項	01	目	01	事業1	事業2	経・臨	予算上の事業名			
	宮島水族館事業特別会計		水族館事業費		水族館事業費		一般管理費		003	01	経	水族館一般管理事業			

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☒ 単年度繰返し ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度) ☐ 単年度のみ	・各種メディア、SNSを使った広報宣伝 ・ホームページ更新管理 ・各種PR活動、PRツールの制作 ・イベント企画提案 ・団体、修学旅行誘致 ・旅行パンフレットへの掲載	宮島水族館の魅力を国内外に発信し、水族館に訪れたくなるような印象的、魅力的な企画やイベントの実施、効果的な営業活動を行い、目標としている年間入館者数50万人以上を達成するため、平成29年度に公募型プロポーザルを実施した。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容	活動指標(活動の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
広報宣伝・営業	→ ア テレビスポットCM	期	目標 実績	4 2	4 3	4 3	4 3	4 3
	→ イ 宮島栈橋でのチラシ配布	回	目標 実績	35 0	35 0	35 0	35 0	35 0
	→ ウ 学校訪問等の営業日数	回	目標 実績	45 6	45 3	45 0	45 0	45 0
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の規模)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
観光客	→ ア 宮島への来島者数	万人	見込 実績	430 345	430 471	430 486	430 486	430 486
	→ イ		見込 実績					
	→ ウ		見込 実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
・来館を促進する ・入館者数50万人以上の達成	→ ア 宮島への来島者のうち水族館に入館する人の割合	%	目標 実績	12 14	12 11	12 10	12 10	12 10
	→ イ 入館者数	千人	目標 実績	516 471	516 511	516 497	516 497	516 497
	→ ウ		目標 実績					
結果(結びつく施策の意図は何か)	施策の成果指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
宿泊観光客数が伸び、一人当たり消費額が増える	→ ア 観光客一人当たり消費額(観光消費額/観光客数)	円	目標 実績	3,900 4,094	4,000 4,300	4,000 4,412	4,000 4,412	4,000 4,412
	→ イ		目標 実績					

3 事務事業の予算・コスト概要

年度	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	前年度比	令和7年度(予算)
事業費(A) (円)	50,000,000	33,000,000	30,000,000	33,676,750	3,676,750	38,465,000
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	市債				0	
	その他特財	50,000,000	33,000,000	30,000,000	3,676,750	38,465,000
	一般財源	0	0	0	0	0
業務延べ時間(時間)	240	160	145	140	-5	
人件費(B) (円)	1,053,000	682,000	633,000	620,000	-13,000	0
トータルコスト(A+B)	51,053,000	33,682,000	30,633,000	34,296,750	3,663,750	38,465,000
主な支出項目		令和6年度(決算)			備考	
広報宣伝・営業業務委託料		33,676,750 円				
		円				
		円				
		円				

事業番号	事務事業名	宮島水族館広報宣伝・営業事業	所管課名	産業部宮島水族館企画室
------	-------	----------------	------	-------------

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
新型コロナの影響により、令和2年度及び令和3年度は、宮島への来島者が大幅に減少したが、令和4年度から回復基調となり、外国人観光客も増加している。	これまでの広報宣伝に加え、InstagramやX等、SNSによる情報発信を積極的に行っている。 また、令和4年度以降は、デジタル広告(YouTube、見逃し配信サイト)を使用した情報発信を行っている。	「5G」の普及によりデジタルメディアへの接触時間は、今後さらに伸びていくことが予想されることから、今後の広報宣伝戦略について、再考する必要がある。

5 事業評価(令和 6 年度決算の評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 結びついている	理由 説明	集客力と滞在時間の延長等、市全域の観光振興と地域経済の活性化に寄与できている。
	②市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 妥当である	理由 説明	社会教育施設としての役割を果たすとともに、宮島の西地域の観光拠点として、滞在時間の延長等、市の観光振興に資するため、入館者増を目的とした広報宣伝活動は必要である。
有効性 評価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 適切である	理由 説明	観光客を中心に、入館促進を目的とした広報宣伝活動を実施している。
	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
	☒ 向上余地がある ☐ 目標水準に達している	理由 説明	宮島への来島者数は年々増加していることから、来島者に対する水族館の周知、ニーズに合った展示、イベント等の実施により、入館者数増加の可能性は十分にある。
効率性 評価	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
	☐ 影響がない ☒ 影響がある	理由 説明	宮島水族館の認知度の向上及び、関心を高めるためには、継続した事業実施が必要である。
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)		
	☐ 改善余地がある ☒ 改善余地がない	理由 説明	テレビやWeb、SNSなどのメディアを活用、広告時期と連携した効果的な広報宣伝を行っている。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	☐ 削減余地がある ☒ 削減余地がない	理由 説明	効果の上がるメディアにより、入館者が増えるタイミングを狙い集中的に広告宣伝を実施している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)		
	☐ 削減余地がある ☒ 削減余地がない	理由 説明	効果的な広告宣伝については、専門的な知識が必要であり、成果水準確保のため広告代理店への委託は妥当であり、人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	☐ 見直し余地がある ☒ 公平・公正である	理由 説明	不特定多数に向けた広報であり、適正である。

6 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直しの余地有り	宮島水族館への来島者数は、年々増加していることから、宮島水族館として、宮島水族館の魅力国内外に発信し、水族館を訪れたいような印象的、魅力的な企画イベントの実施、並びに効果的な営業活動により、年間入館者数が50万人以上を超えるよう努めている。																						
B 有効性	☒ 適切	☐ 改善の余地有り																							
C 効率性	☒ 適切	☒ 改善の余地有り																							
D 公平性	☒ 適切	☐ 見直しの余地有り																							
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			④改革改善案による成果・コストの期待効果																						
☐ 拡充	☒ 現状維持	今後の改革改善案 宮島への来島者数は、年々増加しており、なかでも外国人観光客の伸びは顕著であることから、訪日外国人をターゲットにしたPR戦略、及び企画・立案を検討する必要がある。																							
☐ 目的再設定	☒ 改善																								
☐ 休止・廃止	☐ 完了																								
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題			<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (廃止・休止、完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
観光客の生の声をどのようにして把握していくか。																									